

「科学技術コミュニケーション」の重要性について

(1) 3つの問題意識

- ・「科学技術は未来への投資」は、国民の支持、共感を得ているか。
- ・子供たちは以前ほど科学者に憧れなくなっていないか。
- ・科学者および実務者が働きや能力に応じた評価（報酬）を受けているか。
 - 「事業仕分け」に対する反応（科学技術コミュニティ、国民）
 - 内閣府アンケートに表れた潜在的な国民の“期待”

(2) 2つのアプローチ

- ・透明性（何が起きているか知ってもらう）
- ・コミュニケーション（出会い、語り、突っ込みあう）

(3) 足許の取り組み

- ・ アクションプラン
- ・ 横の連携（科技、知財、IT）
- ・ 総合科学技術会議のバージョンアップ
- ・ 科学技術ミーティング in 大阪
- ・ 内閣府政策会議における総合科学技術会議有識者と国会議員の懇談
- ・ 科学技術フェスタ in 京都

(4) 提案

次期科学技術基本計画に「科学技術コミュニケーション」の重要性を明記してはどうか。

参考：米国科学振興協会（AAAS）による「家族科学デー」

「米国 コミックから親しむ科学」読売新聞 2010年3月11日朝刊 27面